

親子の信頼関係を築くには

洪 溟 (筑波大学大学院/カリキュラム)

となりのトトロ

- ◆ 種別：DVD ビデオ (映画)
- ◆ 監督：宮崎 駿
- ◆ 製作年：1988 年
- ◆ 製作国：日本
- ◆ 発売元：ブエナ・ビスタ・ホーム・エンターテイメント
- ◆ 時間：86 分
- ◆ 音声：①日本語 ②英語
- ◆ 字幕：①日本語 ②英語



折り紙：荒川麻里 写真撮影：黄海玉

あらすじ

小学校6年生のサツキと4歳の妹メイは、退院が近い入院中のお母さんを迎えるために、タツオと一緒に都会から田舎の一軒屋に引っ越してきた。そこで、メイとサツキは相次いで不思議な生き物——トトロたちに出会い、絆を深め、胸躍る体験をすることになる。

シーン再現

<メイは、タツオとサツキをトトロのところへ連れて行こうとするが、トトロを見つけれない>

メイ： ほんとうだもん！
本当にトトロいたんだもん！
ウソじゃないもん！

タツオ：メイ。

メイ： ウソじゃないもん。

タツオ：うん。

お父さんもサツキも、メイがウソつきだなんて思っていないよ。

メイはきっと、この森の主に会ったんだ。

それはとても運がいいことなんだよ。

Chapter

- | |
|----------------------|
| 1. オープニング／2'11 |
| 2. 新居に到着／5'14 |
| 3. マックロクロスケ／3'07 |
| 4. ばあちゃん／5'08 |
| 5. 引越し初日の終わり／7'54 |
| 6. お母さんへのお見舞い／4'02 |
| 7. メイのお散歩／6'31 |
| 8. トトロとの出会い／4'19 |
| 9. 姿を消したトトロ／5'33 |
| 10. 急な雨／4'58 |
| 11. お父さんを迎える／3'48 |
| 12. バスを待つトトロ／6'10 |
| 13. トトロからのプレゼント／5'53 |
| 14. 電報／4'57 |
| 15. 行方不明になったメイ／4'28 |
| 16. メイ探し／5'30 |
| 17. トトロの奇跡／6'19 |
| 18. エンディング／2'59 |

でも、いつも会えるとは限らない。

さあ、まだ挨拶に行っていなかったね。

サツキ：あいさつ？

タツオ：塚森へ出発！

■ 教育学の視点から

この映画は主にサツキ、メイがトトロに出会ってからの不思議な体験を中心に描いたものである。筆者は、トトロが起こした奇跡に魅了された一方、娘たちに対する父タツオの話し方や態度にも魅力を感じた。

映画の冒頭は、3人が田舎の古い家に引っ越しをする場面からはじまる。サツキとメイは、さっそく屋敷を探検し、不思議な生き物たちを発見する。興奮して、「ここに何かいるよ！」と父タツオに向かって大声で叫ぶ。タツオは荷物運びで手いっぱいな状況にもかかわらず、疑いも怒りも抱かず、「お化けじゃない、きっとマックロクロスケだ」、「お化け屋敷に住むのが小さいときから夢だった」と語りながら、娘たちの不安を解消させた。トトロの存在を証明できなかったメイに対しては、「森の主（トトロ）に会うには運が必要だ」と、信頼の気持ちを伝えた。

親子の信頼関係を築くには、親子間のコミュニケーションが大きな役割を果たす。ということは、親が自分の考え方や気持ちを言葉に込めて、いかに子どもに伝えるかが重要な問題である。実際には、親子間のコミュニケーションにおいて、親が主導権を握る場合が多いだろう。子どもに自分の価値観を伝えようとするとき、相手の立場に立ち、子どもの考え方を十分に尊重しながら言葉を交わすべきであろう。上記のことに親は気を配り、子どもとの話し方について繰り返し自己反省を行う必要があるのではないだろうか。

親は子どもが成長するための支援者であり、子どもは親の適切な方向付けや環境づくりの支援を受けながら成長する。親が子どもの個性を尊重しながら、言葉で自分の気持ちを伝えるのなら、子どもは大きな安心感に包まれ、親への信頼を強めることができるだろう。そして悩みがあるとき、親を信頼して、本音を聞かせてくれるのではないか。

サツキとメイの冒険と、それを通した二人の成長からも、信頼して見守ることの大切さを感じる作品である。

繊細な子どもに繊細な言葉を

Information

【映画】大人と子どもの信頼関係を描く映画として、下記の作品を薦める。

・『少年と自転車』制作年：2012年、監督：ジャン＝ピエール・ダルデンヌ、リュック・ダルデンヌ、製作国：ベルギー・フランス・イタリア、販売：角川書店、本編 87分、英語音声、日本語字幕。

【書籍】親子の信頼関係を描写する下記の書籍を薦める。

・ 田中茂樹『子どもを信じること』大隅書店、2011